

第 33 回ハンド・イン・ハンド(街頭募金活動)を実施しました

今年のテーマは「**SOS!** 栄養不良に苦しむ小さな命を守ろう！」

12月23日(金) 全国一斉のハンド・イン・ハンドを仙台市内2ヶ所で行いました。ボランティアさんや、ガールスカウトのみなさん総勢70名が、クリスマスムードの東一番丁通で募金協力を呼びかけました。世界では、紛争や干ばつ・洪水などの自然災害で苦しんでいる子どもが大勢います。この瞬間にも失われる命を一人でも多く救えるのは、みんなのやさしい行動なのです。寒い日でしたが、みなさんのあたたかい思いをたくさん感じました。募金額は、昨年とあまり変わらない103,648円でした。ご協力ありがとうございました。



東北学院サテライトステーションで

「ユニセフ写真展」を開催(12/12~18)

今年9月に南町通りにオープンしたサテライトステーションで、ユニセフ・ボランティア「イトカの会」が主催して、「ユニセフってなあに」や「東日本大震災~みんなの力を笑顔にかえて」のパネルを展示しました。今年はボランティアさんの活躍の場が少なかったため、とても良い機会となりました。



みやぎ生協の店舗でハンド・イン・ハンド

みやぎ生協のこ〜び委員会が中心となって、35の店舗やエリアで募金活動が実施されました。いっしょに開催したバザーの収益を募金したり、ユニセフショップでグッズを販売するエリアもありました。いろいろな工夫をして、来店の方々に募金協力を呼びかけました。気軽にできる国際協力として知られています。



祈りのツリー project

「祈りのビッグツリー」 仙台ロフト
仙台三越



オーナメント募金を呼びかけるボランティアさん



宮城県ユニセフ協会 2011年度第2回理事会

12月13日、フォレスト仙台にて開催しました。理事会に先立ち、公益財団法人日本ユニセフ協会の早水専務理事より、東日本大震災における支援活動の協力に対し、お礼の言葉がありました。理事会では、一力雅彦会長が議長を務め、今年度の事業経過報告や2012年度の事業計画などの協議を行いました。ユニセフの東日本大震災の支援活動は継続されますが、4月以降は県ユニセフ協会が引き継ぐことになります。被災した子どもたちへの支援は長期に及ぶものと思われます。必要とされている支援を誠実に行ってまいります。

『山形県生協連~ユニセフのつどい』で、東日本大震災でのユニセフ支援活動を報告しました

11月4日、山形駅近くの霞城セントラルを会場につどいが行われ、五十嵐がユニセフの基本的な活動内容をお知らせしながら、震災後のユニセフ支援について報告しました。山形県内各地から組合員さんが参加され、継続的な支援の必要性をご理解いただきました。

